



＜フィリピン・リサーチ・レポート＞

情報提供用資料

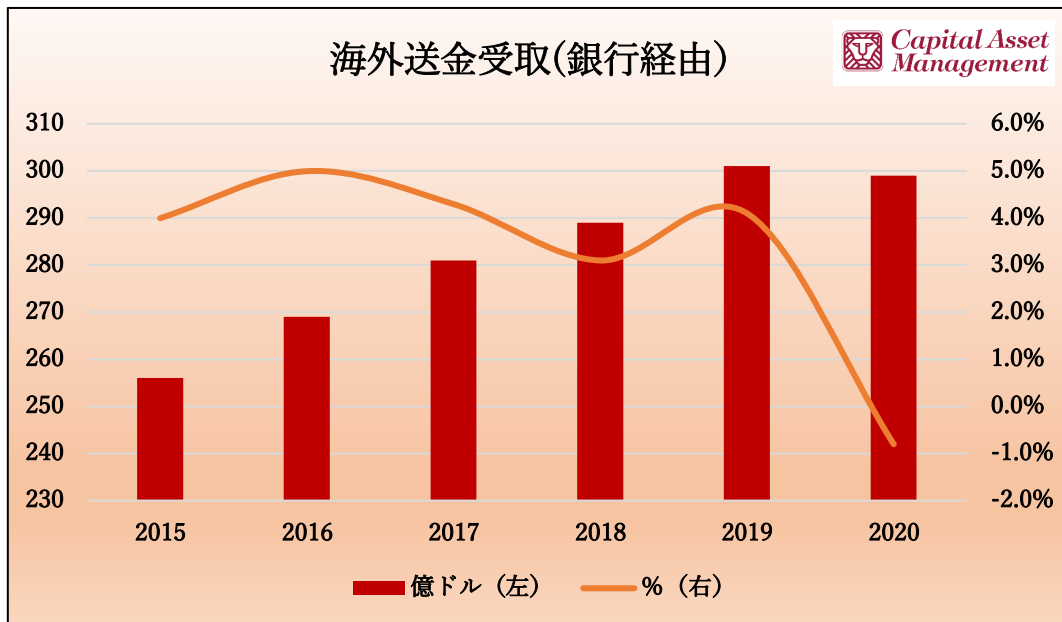
2021年2月17日

フィリピンの2020年海外送金受取 (銀行経由) 前年比-0.8%

フィリピン中央銀行 (BPS) が15日に発表した2020年の在外フィリピン人からの送金額 (銀行経由のみ) は、299億ドル (約3兆1,400億円) で前年比-0.8%だった。同年のGDPの9.2%を占める金額であった。新型コロナウイルス感染拡大などの影響で、2001年の-0.3%以来、19年ぶりの減少となった。ただし、4月の-16.2%、5月の-19.3%という急減ペースから年後半は急回復している。

送金元国別では、1位が米国で前年比+5.5%の119億ドル (シェア39.9%)、2位シンガポールの+12.7%の21億ドル (同7.2%)、3位サウジアラビアの-13.7%の18億ドル (同6.1%)、4位日本の-12.2%の16億ドル (同5.3%)、5位英国の-12.5%の14億ドル (同4.6%)。これらを含む上位10カ国で送金全体の78.6%を占めた。

送金に家族間の贈与などを含めた個人間移転も前年比-0.8%の332億ドルだった。



出所：BPS

<http://www.capital-am.co.jp>

以上